

CZ  
1113  
62-03

明治十九年八月十二日  
愛知縣布達類聚  
全

031159-011-1

CZ-1113-62-03

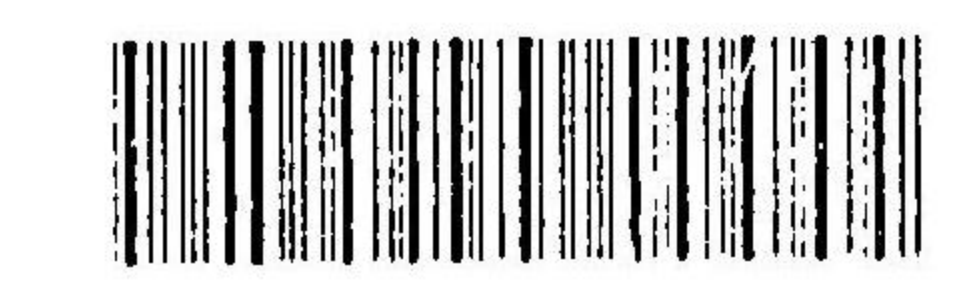
愛知県布達類聚

明治9, 10, 12-19年

愛知県

M12-20

BBD-0019



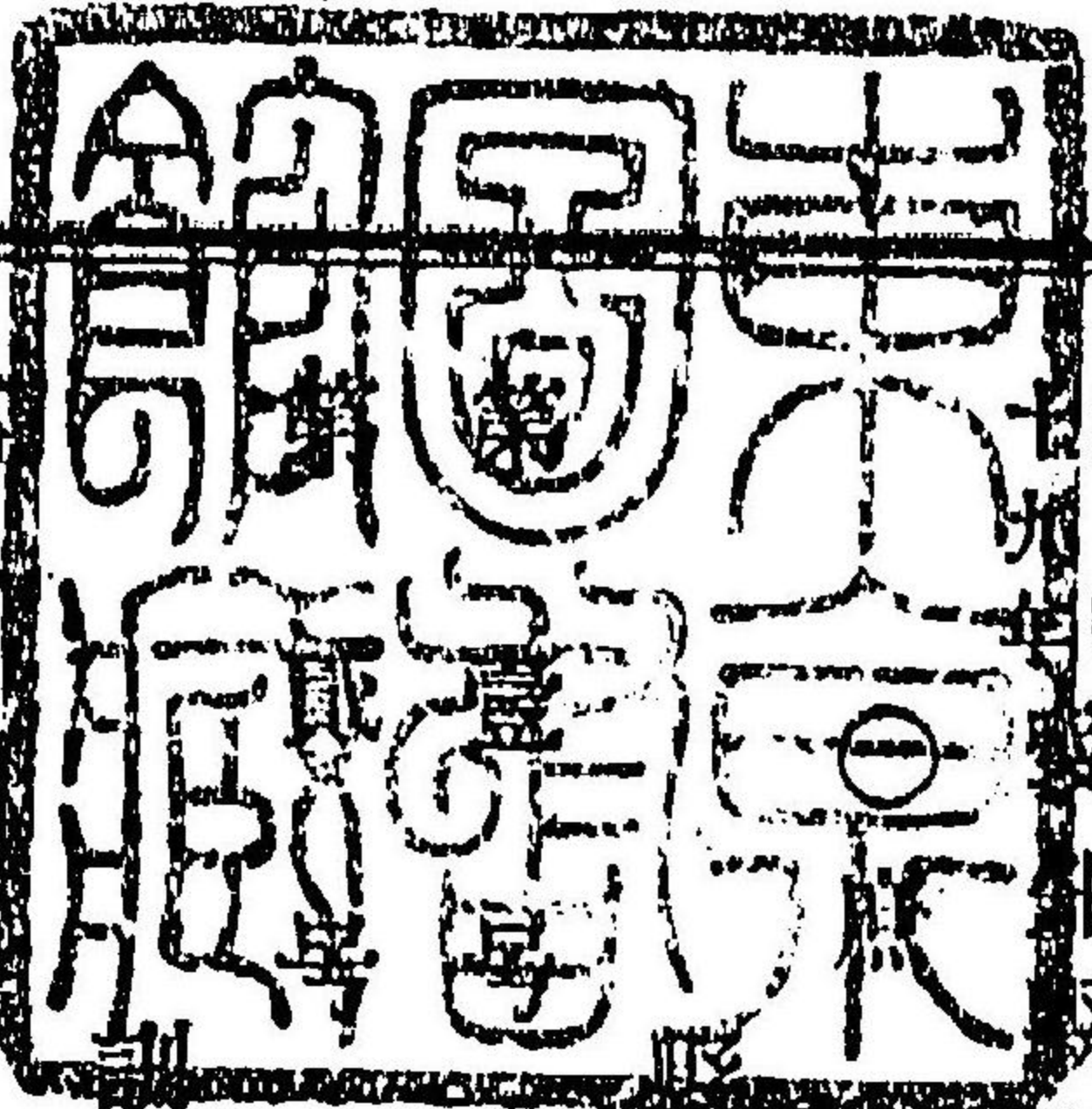


明治十九年自  
八月至十二月

# 愛知縣布達類聚

明治二十年八月刻成

02  
113  
62-02  
105561



治明愛知縣布達類聚

務

令



縣令公布式及施行期限  
九年本縣第一号布達廢止

一丁  
全丁

第十一号 本縣布令配付部數ヲ定ム

七四二丁

第二拾号 天祖教會長於テ伊勢神宮大麻類似ノ神札  
配付差止

七九丁

第二拾一号 新年並紀元節賀表書式

全丁

布達類聚

目次

目一



第三拾三号 源長役場於テ取扱タル地所賣買讓渡質入 九八丁

書入奥書割印帳等登記所へ引繼方

第三拾三号 登記事務ハ登記所々在ノ郡長戸長ヲシテ 全 丁

取扱ハシム

第四拾一号 地籍帳並圖面訂正心得書中追加 一六九丁

第四拾二号 登記所名記載方 一七〇丁

訓 令 乙

第二拾二号 濟貧恤窮施行表及行旅死亡人埋葬表更正 二〇一丁

第二拾三号 神社寺院並神官住職及社寺境内木竹伐採 二〇三丁

表

第二拾四号 郡區書記及傭員旅費支給方 二〇七丁

第二拾五号 郡區長戸長印鑑名古屋始審裁判所へ差 全 丁

出方

告 示

第 壹 号 名古屋始審裁判所檢事不在中事務代理 八月十七日

第二拾一号 知事上京不在中書記官廳務代理ヲ解ク 十月七日

第三拾二号 知事歸着ニ付廳務代理ヲ解ク 十月三十日

第三拾三号 名古屋控訴院於テ第四期重罪裁判所開廳 十一月一日

諭 達

無 号 舊銅貨天保通寶引換方ヲ心得シム 二三七丁



○郡務

縣令

第九号 郡區長於テ便宜施行ノ後知事ニ報告スル 八丁

第十号 郡區長委任條件改正 九丁

訓令甲

第一号 郡區役所戸長役場於テ揭示場建設シ發布 六五丁  
ノ縣令ヲ揭示セシム

第三号 歳入取扱順序ニ據リ戸長於テ税金ヲ分納 全丁  
スル件

第拾六号 戸長職權ヲ以テ處分ニ係ル伺書差出方 七八丁

第拾六号 在監人接見願書ニ戸長奥書スルニ及ハス 八四丁

訓令乙

第七号 郡區長於テ事務執行上心得ノ條項 一七五丁

第八号 郡區長委任條件改正ニ付其要旨及執行手 全丁  
續

告示

第二拾五号 陸軍省令甲第卅九号揭示用ノ分配布セス 二一五丁

○會議

縣令



- 第三号 十九年度地方稅臨時支出收入豫算ヲ定ム 一丁
- 第拾四号 知多郡撰舉縣會議員關員ニ付補關員及外 二七丁  
三名ノ撰舉會開設
- 第拾七号 明治十八年度地方稅支出豫算不足補充及 三〇丁  
收入追加豫算並ニ十九年度收支追加豫算  
縣會及區郡部兩會ノ決議ヲ經テ定ム
- 号 外 十九年度郡部地租割戸數割收入豫算追加 五八丁  
ノ分全額納期日
- 号 外 鄉瀨川經費支出徵收ノ爲メ水利土功會開 五九丁  
設

- 号 外 福田井組水利土功會區域追加 六四丁  
訓令甲
  - 第拾二号 十五年乙第六拾六号達ヲ廢ス 八一丁  
訓令乙
  - 第拾二号 縣會議員撰舉被撰舉權ヲ有スル者調整書 一八五丁  
式
- 告 示
- 第拾五号 臨時縣會及區部郡部兩會開設 九月廿七日
  - 第拾二号 臨時縣會及區部郡部兩會結了 十月七日
  - 第拾八号 十九年度臨時縣會及區部郡部會ヲ開設該 十一月十一日



會閉場后引續キ二十年通常縣會及區郡兩部會開設

○公證公賣

告示

- 第二拾四号 中島郡高御堂村戸長役場備付ノ公證割印 十月十八日
- 第二拾六号 西春日井郡比良村戸長役場全上 十月廿七日
- 第三拾号 渥美郡岩田村戸長役場全上 十月廿九日
- 第三拾六号 北設樂郡田口村戸長役場全上 十一月十日
- 第三拾九号 全郡武節村外五ヶ村戸長役場全上 十一月十一日

第四拾四号 西春日井郡大會根村外四ヶ村戸長役場全上 十一月廿九日

第四拾五号 全郡小木村外四ヶ村戸長役場全上 十二月一日

第五拾八号 中島郡起村富田村戸長役場全上 十二月十七日

第六拾二号 西春日井郡枇杷島町戸長役場全上 十二月廿三日

第六拾三号 寶飯郡當古村外四ヶ村戸長役場全上 十二月廿四日

第六拾六号 丹羽郡學傳村外廿四ヶ村戸長役場全上 十二月廿八日

第六拾八号 東春日井郡池ノ内村外二ヶ村戸長役場全上 全月全日

上

第七拾号 碧海郡大岡村外七ヶ村戸長役場全上 全月全日



勸業

縣令

第八号 十八年甲第二十二号達同業組合准則中改 七 丁

正並ニ削除

第拾一号 十八年甲第八十三号達驛傳營業取締規則 一三 丁

中改正並ニ文字挿入

第拾五号 漁業組合準則 二八 丁

訓令 甲

第二拾五号 陶磁器産額概價表調年限改正 八三 丁

第三拾八号 三等郵便局長採用規則 一〇〇 丁

第四拾号 鑛物掘探者心得違ヒ無キ様篤ク注意方 一六九 丁

告示

第二号 本縣博物館ヲ開ク 八月廿五日

第三拾一号 登錄商標觀覽所ヲ設置ス 十月三十日

諭 達

無 号 凶荒豫備ノ件 二三八 丁

無 号 貯金 全 丁

無 号 米穀改良方 二三九 丁

○兵 事

訓令 甲



第九号 國民兵異動屆遷延ニ係ル者其手續書ヲ徵 七四ノ二丁

シ副申差出方

第拾二号 來二十年徵兵令ニ據リ海軍水兵並火夫徵 七五丁

集

第拾七号 十七年乙第百二十九号達海軍下士服役規 七八丁

則中第一條第三項ヲ廢ス

第二拾三号 徵兵檢査施行日割 八一丁

第二拾七号 徵發物事務條例中改正ニ付郡區長於テ取 八四丁

調難形及差出期限

第二拾九号 各町村馬匹員數取調方 八九丁

第三拾四号 海軍下士卒戶籍上異動ノ都度報告方 九八丁

第三拾五号 十九年丙第拾七号及同第卅一号達ヲ廢ス 九九丁

訓令乙

第拾五号 臨時召集兵員旅費一時郡區役所於テ繰替 一八七丁

支拂方

告示

第拾七号 名古屋鎮臺調馬卒欠員召募 二二一丁

第二拾八号 本縣徵兵署及第六師管徵兵署ヲ縣廳内へ 十月廿八日

開設

第四拾九号 第六師管徵兵署ヲ郡役所内へ移ス 十二月四日



○戶籍

縣令

第拾九号 同郡區内他町村へ寄留者届出方 三四丁  
第二拾三号 寄留及出生死亡結婚離婚等届書式 三五丁

訓令 甲

第拾四号 十七年乙第二百二拾号達戸籍表書式改正 七六丁  
第二拾八号 戸籍帳及寄留簿用紙等ヲ定ム 八九丁  
第拾三号 内務省令第拾九号施行以前ニ出入寄留ノ 九〇丁  
届出ヲ爲シ現ニ出入寄留ノ記載アル者ノ  
出入寄留簿整理方

第三拾一号 寄留簿登記書式例 全丁  
第三拾九号 戸籍登記書式例 一二三丁

○土木

訓令 甲

第拾五号 土地ニ關スル諸帳簿並圖面等變換異動ノ 七八丁  
時々速ニ加除更正方

第三拾七号 水利土功會及學區會ノ議員撰舉方 九九丁

訓令 乙

第壹号 土木工事ニ係ル村受工費請求ハ自今上申 一七二丁  
ニ及ハヌ十七年乙第百五拾八号達ニ依ラシム



第拾号 國縣道路及ヒ堤塘ニ生スル枯損木ヲ橋梁 一八四丁

樋管ニ適用ス

第拾一号 川面及ヒ溝渠上使用料收納方 一八五丁

第拾七号 道路堤防急破修繕施工方 一九六丁

○學事

訓令甲

第四号 師範學校卒業生服務狀況報告方 六六丁

告示

第四号 本縣師範學校ヲ尋常師範學校ト改稱 二〇八丁

第拾号 本縣中學校ヲ尋常中學校ト改稱 全丁

第拾貳号 愛知醫學校ニ於テ自費生徒募集 全丁

第拾三号 本縣尋常中學校於テ生徒補欠募集 全丁

○衛生

縣令

第五号 三河國各郡於テ馬病流行因テ獸疫炭疽熱 四丁

豫防規則ヲ定ム

第六号 三河國ノ内五郡ヲ獸疫炭疽熱流行地ト認 七丁

定

第拾三号 炭疽熱病衰タルヲ以テ五郡牛馬出入往來 二七丁

ノ停止ヲ解ク



訓令 甲

第六号 赤貧患者ノ病毒汚染シタル物品焼却シタル代リ品給與方 七四ノ二丁

第十号 近來馬病流行斃馬陸續有之際獸類畜養者ニ於テ充分豫防ニ注意セシム 七四ノ二丁

第十三号 本年縣令第五号炭疽熱豫防規則ニ據リ届ヲ受ケタル戸長役場及郡區役所ヨリ縣廳ヘ報告方 七五丁

第十九号 馬疫炭疽熱流行地牛馬ノ往來ヲ解クト雖 七九丁  
此一層豫防ニ注意セシム

第二拾四号 檢疫本部及支部ヲ閉鎖シ當分殘務ヲ警察 八三丁

本部内ニ於テ取扱フ

第三拾六号 郡區役所戸長役場ノ間ニ於テ便宜協議計 九九丁  
畫ヲ爲シ種痘ニ着手致サスヘシ

訓令 乙

第拾八号 傳染病患者表 一九六丁

第拾九号 死亡者年齡區別表改正 一九七丁

第二拾号 種痘明細表 一九九丁

第二拾一号 醫師異動表 二〇〇丁

告示



- 第三号 愛知郡熱田羽城町交通遮斷ヲ解ク 八月廿四日
- 第六号 北海道廳外九縣虎列刺病流行ニ付全縣ヨリ來ル船舶ハ檢査規則ヲ實施ス 九月二日
- 第拾八号 獸疫炭疽熱豫防消毒心得 二二一丁
- 第二拾号 施療醫ノ内退職ニ付後任撰定 十月四日
- 第二拾七号 虎列刺病流行地解除ニ付同地ヨリ來ル船舶ハ檢査ヲセス 十月廿八日
- 第三拾四号 東京府外三縣虎列刺病流行地ヲ解除 十一月四日
- 第三拾五号 檢疫本部及支部ヲ閉鎖 十一月八日
- 第四拾号 北海道廳管下渡島國及神奈川縣外八縣虎 十一月十二日

列刺病流行地ヲ解除

- 第四拾三号 青森縣外二縣全上 十一月廿九日
- 第五拾一号 大坂府全上

論 達

- 無 号 虎列刺病漸々衰退スルモ尙餘燼再燃ノ懼 二三七丁
- レアルヲ以テ豫防攝生ニ怠ラサラシム
- 無 号 種痘施行方 二四〇丁

○諸 稅 縣 令

- 第拾二号 自家用料酒類製造者心得並其手引 一三三丁



第拾六号 荷積車常ニ副木ヲ用ヒ荷臺ヲ増補スルモ 三〇丁  
 ノハ使用前届出検査ヲ受クヘシ  
 第拾八号 賣藥行商者無印紙ノ藥品買渡シ預ケ入タ 三三丁  
 ルモノ申出期限

訓令 甲

第二号 鹿兒島縣下ノ營業者當縣下ニ來リ寄留該 六五丁  
 營業ヲ爲ス者納稅ノ証左ナキハ  
 其營業ヲ停止ス  
 第五号 内國稅未納追徵整理順序 六六丁  
 第七号 租稅檢査員携帶印章改正 七四二丁

訓令 乙

第二号 印紙類賣捌人ヨリ返納ノ印紙類代金下付 一七二丁  
 方  
 第三号 管下清酒沿革取調表差出方 一七二丁  
 第四号 十九年乙第拾一号達中删除並追加 一七四丁  
 第五号 本年丙第三拾六号達ノ書式中第五号歳入 全丁  
 報告記載方心得  
 第九号 歳入取扱順序ニ據リ既納ノ税金過誤納ニ 一八四丁  
 係ル者下戻請求方  
 第拾三号 徵稅額表及歳入報告書訂正追加スル手續 一八六丁



第拾四号 荷積車副木及荷臺ニ用ニル烙印雛形 一八七丁  
第拾六号 營業及雜種稅臺帳様式 一八八丁

告示

第八号 船舶鑑札流失並ニ盜難 九月八日  
第拾四号 岐阜縣下ニ至リ營業スル者同縣地方稅規 二一一丁  
則ニ照シ課稅スヘキ件  
第二十三号 菓子營業免許鑑札紛失並盜難 十月十二日  
第二拾九号 宮崎縣下ニ至リ地方稅ヲ賦課ス可キ營業 二一五丁  
ヲ爲ス者ハ同縣地方稅規則ニ照シ課稅ス  
可キ件

第三拾七号 諸鑑札紛失並盜難 十一月十一日  
第五拾三号 諸鑑札紛失遺失舟車流失盜難 十二月十三日  
第六拾七号 賣藥營業者又ハ行商者無印紙ニテ自用者 十二月廿八日  
ヘ賣渡シ又ハ預置タル分石川縣外八縣ノ  
郡區役所へ申出期限通知  
第六拾九号 青森鳥取兩縣ヨリ全上 全月全日

○公債

縣令

第四号 諸記名公債元利賦金交付ノ儀日本銀行代 二 丁  
理店ニ於テ取扱ニ付債主心得方



訓令 甲

第拾八号 十六年乙号外達廢止

七九丁

告示

第拾六号 金祿公債証書變造証書所在分明

九月廿七日

第拾六号 金祿公債証書盜難及紛失

十二月一日

第拾五号 金祿公債証書當籤記番号

十二月六日

第拾五号 金祿公債証書發見

十二月十四日

○警察

縣令

第七号 本年甲第五十九号布達廢止

七丁

第二拾号 監獄差入モノ、布達廢止

三五丁

第二拾一号 違警罪目追加並ニ改正

全丁

第二拾二号 本年縣令第九号第四條及違警罪目中刪除

全丁

第二拾四号 巡查召募規則改正

五四丁

号 外 船舶檢査ノ件

五八丁

号 外 虎列刺病流行地ヨリ來ル船舶ニ限リ流行

全丁

号 外 地解除シタル上ハ檢査ヲ受クルニ及ハス

全丁

号 外 名古屋區消防規則改正追加

六一丁

訓令 甲

第八号 虎列刺病流行地ヨリ來ル船舶並旅人流行

七四、二丁



地解除シタル上ハ檢疫ヲ行フニ及ハス

訓令乙

第六号 屠獸取締規則ニ依リ願書差出方 一七五丁

告示

第五号 柳風狂句集出版發賣差止 八月廿八日

第七号 最行節花揃出版發賣差止 九月四日

第九号 長崎事件有ノ其儘出版發賣差止 九月十日

第十一号 京都府並ニ三重縣下虎列刺病流行地解除 九月十七日

第十四号 上出捨吉外三名出版ノ雜誌發賣差止 十月四日

第十四号 警察區畫改正 二一五丁

第四拾二号 日課拜禮記出版發賣差止 十一月廿七日

第四拾七号 藤江信房外壹名出版ノ雜誌發賣差止 十二月二日

第四拾八号 神佛拜覽記出版發賣差止 十二月三日

第五拾号 九星方位獨稽古出版發賣差止 十二月十一日

第五拾四号 明治二十年略曆出版發賣差止 十二月十四日

第五拾六号 警察署ノ取扱ニ係諸届書副本ニ及ハス 二三四丁

第五拾七号 増永舛吉外貳名出版雜誌發賣差止 十二月十七日

第五拾九号 神崎総八外八名出版雜誌發賣差止 十二月廿日

第六拾号 長屋彌太郎外壹名出版ノ雜誌發賣差止 全月全日

第六拾一号 前田嘉兵衛西洋かるゝ出版發賣差止 十二月廿三日



第六拾四号 蜂須賀芳藏兩儀要説出版發賣差止

十二月廿四日

第六拾五号 花野龜藏官國幣社皇靈御祭日記出版發賣差止

十二月廿七日

○ 縣 令

愛知縣令第壹號

明治十九年八月十七日

本縣々令公布式及施行期限左之通相定ム

一 縣令ハ郡區役所及戸長役場ノ揭示場ニ揭示スルヲ以テ公布式トス

一 縣令ハ發布ノ日ヨリ七日ヲ經テ施行ノ期限トス

但急施ヲ要シ即日ヨリ施行セシムルモノ及特ニ施行ノ日ヲ掲ケタルモノハ此限ニアラス

愛知縣令第二號

明治十九年八月廿六日

明治九年十月本縣甲第一號布達

違背ニ輪廓ヲ付スルト否トノ件

自今廢止ス



愛知縣令第三號

明治十九年八月廿六日

明治十九年度地方稅臨時支出收入豫算常置委員會ノ決議ヲ經テ別紙之通相定ム

(別紙)

明治十九年度地方稅支出追加豫算

一金五千圓

衛生及病院費

但傳染病豫防費

右金額郡區連帶經費分別條例ニ依リ割合左ノ如シ

金四百四拾八圓拾五錢三厘

區部

金四千五百五拾壹圓八拾四錢七厘

郡部

明治十九年度區部地方稅收入追加豫算

一金四百四拾八圓拾五錢三厘

明治十九年度衛生及病院費追加豫算區部支辨ノ分

右金額ハ追徵ヲ要セス十八年度收支差引殘金ノ内ヲ以テ支辨

明治十九年度郡部地方稅支出追加豫算

一金百拾七圓八拾八錢五厘

豫備費

全上收入追加豫算

一金二千五百四拾八圓三拾二錢貳厘

地租割

但本年地租豫算高金百七拾七万四千百六拾六圓地租金壹圓ニ付金貳厘



一金千百貳拾壹圓四拾錢

戶數割

但十八年一月調戶數貳拾八萬三百五拾戶壹戶ニ付金四厘

合金四千六百六拾九圓七拾三錢貳厘

愛知縣令第四號

明治十九年九月十一日

諸記名公債元利賦金交付ノ義ハ本廳並各郡役所ニ於テ取扱來候處來ル十一月一日ヨリ總テ日本銀行代理店ニ於テ取扱候條各債主ニ於テハ左記之通心得ヘシ

債主心得書

第一條 諸記名公債元利賦金ノ支拂ヲ取扱フヘキ日本

銀行代理店ハ名古屋三井銀行出張店岡崎及豐橋第百三十四國立銀行支店ノ三ヶ所トス

第二條 取扱店ハ債主居住ノ郡區ニ依リ左ノ如ク定ム

名古屋區尾張國各郡

名古屋三井銀行出張店

碧海郡幡豆郡額田郡西加茂郡東加茂郡

岡崎第百三十四國立銀行支店

北設樂郡南設樂郡寶飯郡深美郡八名郡

豐橋第百三十四國立銀行支店

第三條 前條取扱店ヲ定ムト雖トモ債主ノ便宜ニヨリ甲乙變更ヲ要スルモノハ其取扱店ヲ指定シ本月廿五日迄ニ縣廳ヘ届出ヘシ

第四條 債主ハ雛形ノ如ク印鑑ヲ作り來ル十月十五日



迄ニ其取扱店へ差出スヘシ  
 但改姓名代替改印等ノキ並ニ公債所有セサルモノ  
 ニシテ新ニ公債ヲ讓受買入タルモノモ本文ニ準ス  
 第五條 諸記名公債元利賦金ノ拂渡日限ハ其期節ニ臨  
 ミ各取扱店ヨリ廣告スヘシ  
 第六條 來ル十一月一日以後ニ係ル元利賦金拂渡日限  
 ニ難受取モノハ事故解融之節直ニ其取扱店へ請求ス  
 ヘシ

雛形(用紙半紙)

今般愛知縣令第四號ニヨリ戸長ノ保證ヲ得テ左ニ印鑑

差出候也

(印鑑紙ハ美濃白紙)

曲尺縦四寸



四寸

書面ト印鑑ニ割印スヘシ

年號月日

何

某

日本銀行代理店

何店御中

縣令

四



右相違無之依テ保證ノ爲メ奥印ス

戸長

何 某

印

愛知縣令第五號

明治十九年九月廿九日

近來三河國各郡ニ於テ馬病流行候處右ハ全ク炭疽熱ニ  
テ他ノ獸類又ハ人身ニモ傳染シ最モ恐ルヘキ劇烈ノ惡  
疫ニ付豫防規則左之通相定メ本令發布ノ當日ヨリ本年  
限り之ヲ施行ス

獸疫炭疽熱豫防規則

第一條 炭疽熱ノ病症ニ罹リタル馬匹若クハ該症候ノ

疑アル病畜ハ其所有者又ハ管理者ニ於テ直ニ其病畜  
ト健畜トヲ隔離シ獸醫ヲシテ病畜及ヒ之ニ接近シタ  
ル健畜ヲ診察セシムヘシ

第二條 獸醫病畜ヲ診察シテ炭疽熱ト認定シタルトキ  
ハ其旨直ニ所有者又ハ管理者連署ヲ以テ警察署若ク  
ハ分署及ヒ戸長役場ヘ届出ヘシ

但診察ヲ乞フヘキ獸醫無之場合タリトモ所有者又  
ハ管理者ニ於テ其病狀炭疽熱ト認ムルカ又ハ其疑  
アルモノハ直ニ其旨ヲ届出ヘシ

第三條 前條ノ届出ヲ受ケタル警察署若クハ分署戸長



役場ニ於テハ該豫防及消毒法等施行ノ如何ヲ検査シ  
而シ其近傍適宜ノ場所ヲ撰ヒテ之ヲ榜示スヘシ

第四條 炭疽熱ノ病畜アル近傍ヘ他ノ健畜ヲ牽入ル、  
ハ勿論之ニ接近スヘカラス

第五條 前條病畜ニ觸レタル者ハ充分消毒法ヲ行ヒタ  
ル後ニアラサレハ決シテ他ノ健畜ニ近接スヘカラス

第六條 炭疽熱ニ罹リ斃レタル獸類ノ屍体及ヒ其排泄  
物其他之ニ觸レタル器物及ヒ飼料褥草等ハ警察官若  
クハ郡區吏員及ヒ戸長ノ指揮ニ隨ヒ燒棄スルカ又ハ  
消毒法ヲ施シ深サ壹丈以上ノ坑ヲ掘リテ埋没シ畜舎

ノ床土ハ厚サ壹尺以上ヲ鋤取り同ク埋没スヘシ  
但埋没シタル場所ハ十二年ノ後ニアラサレハ發掘  
スルヲ得ス

第七條 無主ノ獸類炭疽熱ニ感染シタルモノハ見當リ  
次第直チニ之ヲ撲殺スヘシ

第八條 道路ニ於テ炭疽熱ニ罹リタル病畜及ヒ其屍体  
ハ警察官又ハ郡區吏員及ヒ戸長ノ指示スル所ニアラ  
サレハ妄リニ轉移若クハ埋没スルヲ得ス

第九條 炭疽熱ニ罹リタル獸類ノ畜舎ニハ三ヶ月ヲ經  
サレハ健畜ヲ牽入ル、ヲ得ス



第十條 病畜及ヒ其排泄物ニ觸レタル器物ハ勿論其病畜アリシ場所ハ所有者又ハ管理者ニ於テ充分消毒法ヲ行フベシ

但消毒法ヲ行フキハ必ス警察官若クハ戸長ノ檢査ヲ受クヘシ

第十一條 炭疽熱蔓延甚ク豫防上必要ト認ムルキハ流行地區ヲ限り豫防線ヲ劃シ獸類ノ出入往來ヲ停止スルコトアルヘシ

第十二條 炭疽熱ニ罹リタル病畜ノ全癒又ハ斃死ハ其都度所有者又ハ管理者ヨリ直ニ警察署若クハ分署

及ヒ戸長役場へ届出ヘシ

第十三條 此規則ニ違背シタル獸醫及ヒ獸類所有者又ハ管理者ハ違警罪ニ據リ罰セララルベシ

但刑法ニ正條アルモノハ此限ニアラス

愛知縣令第六號

明治十九年十月一日

縣下碧海幡豆額田西加茂寶飯ノ五郡ヲ獸疫炭疽熱流行地ト認定ス依テ該郡周圍ヲ以テ豫防線トナシ牛馬ノ出入往來ヲ停止ス

但本令發布ノ當日ヨリ之ヲ施行ス

愛知縣令第五號獸疫炭疽熱豫防規則第十三條但書左ノ



通修正ス

但刑法第二百四十九條ニ該當スルモノハ此限ニア  
ラス

愛知縣令第七號

明治十九年十月四日

本年甲第五十九號布達

劇場及ヒ寄席廢止ス  
興行制限ノ件

愛知縣令第八號

明治十九年十月六日

客年甲第二十二號布達同業組合準則中左之通改正削除  
ス

第六條 同業組合ハ其事蹟人員及費用決算表ヲ毎年十

二月縣廳へ報告スヘシ

第七條 規約ヲ改正増補スルキハ更ニ縣廳ノ認可ヲ請

フヘシ

第十條 組合會議ニ於テ評決シタル事件ハ總テ縣廳ニ  
届出ツヘシ

第十一條 但書削除

第十二條 削除

愛知縣令第九號

明治十九年十月六日

勅令第五十四號ヲ以テ地方官々制公布之處郡區長ニ於  
テ便宜施行シテ後知事ニ報告スル事項左ノ如シ

一國稅地方稅備荒儲蓄金及區町村費不納者處分ノ事



- 二 徵兵取調ノ事
- 三 逃亡死亡絶家ノ財産處分ノ事
- 四 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事
- 五 電線道路田畑水利ニ障碍アル官有樹木ヲ採伐スル事
- 六 河岸地借地檢査ノ事
- 七 印紙賣捌願ノ事
- 八 學校資金ノ事
- 九 地方税支辨ニ係ハル路道堤防急破修繕ノ事
- 十 非常水害防禦ノ爲メ三等官林竹木伐採ノ事

- 十一 地券書換願ノ事
  - 十二 社寺什物取締ノ事
  - 十三 府縣社以下並寺院境内枯損竹木伐採及竹木栽培願ノ事
  - 十四 度量衡檢査ノ事
  - 十五 諸貸下金徵收處分ノ事
- 右ノ外法律命令ヲ以テ委任シ及知事ヨリ特ニ分任スル條件

愛知縣令第十號

明治十九年十月六日

明治十六年十月十日 本縣甲第七拾九號布達郡區長委任條件別



紙之通改正ス

郡區長委任條件

第一款

- 一 書記戸長町村立學校職員父母看病及歸省病氣轉地療養願之事
- 二 書記戸長及町村立學校職員除服之事
- 三 戸長旅行願之事
- 四 罹災之窮民エ食料小屋掛料農具料種穀料ヲ救助スル事
- 五 山燒及畔燒願之事

六 民有森林之樹木斫伐及土石并草木根株ヲ掘採願之事

但木曾川庄内川天白川境川矢作川英比川之流域其他國土保安ニ關スルモノハ此限ニアラス

七 銃獵願之事

但不定期銃獵ハ此限ニアラス

八 築漁業願之事

但他縣ニ關スルモノハ此限ニアラス

九 縣社以下遷宮願之事



- 十 佛像開帳願之事
  - 十一 社寺改造及修繕願之事  
但保存金下賜之社寺ハ此限ニアラス
  - 十二 社寺境內三ヶ月以內貸下之分滿期願繼及返地願之事
  - 十三 豫算內之經費支出之事
  - 十四 郡區役所ニ屬スル不用物品ヲ賣却スル事
  - 十五 窮民救助ニ係ルモノ滿期願繼之事
- 第二款
- 一 區町村費又ハ私費ニ屬スル道路堤防橋梁用惡

水路等修繕願之事

- 二 但新規變更ニ屬スルモノハ此限ニアラス  
地方稅ニ屬スル河港道路堤防橋梁種類等之村受工事ヲ縣廳之目論見帳ニ據リ施工シ及出來形精見スル事
- 三 用水分配之事
- 四 水車設置願ノ事  
但水路數郡ニ跨ルモノ及水量増減ニ係ルモノハ此限ニアラス
- 五 堤防使用及並木敷貸下地之滿期願繼并返地願



之事

- 六 堤防使用料及並木敷貸下料ヲ收入スル事
- 七 道路堤防ニ生立スル木根枝葉竹并下草果實等拂下及代金收入スル事
- 八 郡區役所及ヒ之ニ屬スル建築修繕工事ヲ豫算額内ヲ以テ施工スル事  
但建坪之増減ヲ生スルモノハ此限ニアラス
- 九 官有地<sup>官林ヲ</sup>ニ生産スル動植物<sup>木竹ハ包</sup>拂下之事  
但陸軍省所轄地及堤防治水上ニ關スルモノハ此限ニアラス

- 十 貸下地及ヒ植物拂下受人名義變換之事  
但陸軍省所轄地ハ此限ニアラス
- 十一 官有地ニ建設セル私有建物賣買并ニ書入質之證券ニ與書スル事
- 十二 電線道路田畑水利ニ障礙アリテ伐採セシ官有樹木ヲ賣却スル事
- 十三 戸籍訂正願ノ事
- 十四 絶家再興及ヒ分家并ニ一戸新立願之事
- 十五 附籍并ニ家族換願之事
- 十六 復姓及ヒ改名願之事



- 十七 戸主失踪逃亡中妻離縁願之事
- 十八 戸主ヲ罷メ又ハ一戸ヲ廢シ他エ縁組或ハ復籍願之事
- 十九 廢嫡及ヒ家督相續結婚離婚願之事
- 二十 家督延期願之事
- 廿一 無籍者入籍願之事
- 廿二 棄兒迷子處分之事
- 廿三 町村立學校休業伺届之事
- 廿四 町村立學校内ニ於テ夜學開設願之事
- 廿五 學齡兒童之就學猶豫願之事

廿六 賣藥請賣并ニ行商願之事

第三款

- 一 國稅及ヒ地方稅ニ係ル營業願届之事  
但酒造醬油及ヒ警察署之特許ニ係ル營業願ハ此限ニアラス
- 二 自家用料酒製造願之事
- 三 日本形船舶積石間數檢査之事
- 四 日本形船舶賣買讓與及ヒ定繫場變更願届並解船届之事
- 五 諸船鑑札ヲ下付スル事



六 免稅スヘキ舟車エ烙印スル事

愛知縣令第十一號

明治十九年十月八日

客年<sup>八月</sup>本縣甲第八十三號布達驛傳營業取締規則第三條左ノ通改正シ第十條及第十三條第廿三條第廿七條中(ニ届出)ノ三字ヲ削リ縣廳<sup>ノ</sup>下<sup>(ノ)</sup>一字ヲ挿入ス

一第三條陸運荷物受負營業人ハ應分ノ身元金ヲ縣廳<sup>ヘ</sup>差出ス<sup>ヘシ</sup>尤其金額ハ縣廳ニ於テ之ヲ定ム  
但身元金ヲ完納シタル上ニアラサレハ營業スル  
ヲ得ス

愛知縣令第十二號

明治十九年十月九日

大藏省令第二十七號ヲ以テ自家用料酒類製造者心得被  
相定候ニ付其手續ヲ定ムル<sup>ト</sup>左ノ如シ

但明治十六年<sup>月</sup>甲第七十六號全十七年<sup>月</sup>甲第百二號  
全十八年<sup>月</sup>甲第百十九號布達ハ廢止ス

第一條

自家用料酒類ヲ製造スルモノハ着手十日前第一號書式  
ニ倣ヒ所轄郡區役所ニ願出免許鑑札ヲ受クヘシ  
但鑑札料ハ鑑札授與ノ節納ムヘシ

第二條

免許ヲ得タルモノハ直ニ造酒種目見込石數並製造法共



第二號第三號書式ニ倣ヒ其地收稅部検査員派出所へ届出ヘシ

第三條

免許鑑札ハ一期有効ノモノニ付引續製造スルモノハ九月三十日マテニ最初授與セシ鑑札ヲ添へ更ニ願出ヘシ郡區役所ニ於テハ其鑑札裏面ニ該期免許証印ヲ捺シ下付スヘシ

第四條

造酒見込石數届出ノ后之レヲ増減或ハ變換スルモノハ第四號第五號書式ニ倣ヒ其地收稅部検査員派出所及郡

區役所へ届出ヘシ

第五條

見込石數ノ内一時ニ製造セサルモノハ其製造ノ都度十日以前第六號書式ニ倣ヒ其地收稅部検査員派出所へ届出ヘシ

第六條

免許ヲ得タルモノノ戸外ニ掲出スヘキ標札ハ左ノ雛形ニ倣ヒ調製スヘシ



免許鑑札ノ番號ヲ記スヘシ

第何號

自家用料(濁酒)製造

(燒酎)  
(味淋)

國郡區町村番地  
何之某

寸法

豎曲尺二尺

横曲尺五寸

用材適宜

第七條

酒類容器ハ使用以前容量ヲ取調桶類ハ側面ニ瓶類ハ紙札ヲ貼付シ各其石數ヲ記載シ置ヘシ

第八條

造酒器械ノ員數ハ第七號書式ニ倣ヒ遺漏ナク帳簿ニ明記シ置ヘシ

但器械ヲ借り受クルモノハ其貸渡人ノ住所姓名ヲモ詳記スヘシ

第九條

醸造ノ酒類ハ其酒酏及麴掛米汲水蒸溜酒ハ其元種類等  
渾(仕込)テ(蒸溜)ノ月日並ニ製成酒ノ石數トモ第八號書式ニ倣ヒ明記スヘシ

第十條

造酒ノ石數ハ總テ製成酒ヲ以テスト雖モ白酒ハもろみ



ニテ計算スヘシ

第十一條

主任官臨檢ノ節ハ造酒石數及諸器械帳簿等總テ檢査ヲ受クヘシ

第一號

自家用料酒製造免許願

國郡區町村番地

何 某

一 何 酒(濁酒)(燒酎) 何斗何升造ノ見込  
(味淋)

明治何年度自家用料酒前書之通製造致度候ニ付免許鑑札御下渡被成下度此段奉願候也

(引續製造ノモノハ左ノ如ク認ムヘシ)

明治何年度自家用料酒前書之通引續製造致度候ニ付御免許被成下度鑑札相添此段奉願候也

右

年 月 日

何 某 印

郡 區 長 宛

戸長奥書

第二號



自家用料何酒(濁酒)見込石御居(味淋)

(一持ニ製造セザルモノハ其總石  
數何程ノ内ト肩書ニ認ムヘシ)

國郡區町村番地

一元(白米)何程(麥)

何 某

此(釀造)見込何酒何程(蒸溜)

但 着手 何月何日  
製成豫期 何月何日

右ハ明治何年度自家用料酒製造見込石高前書之通有之  
候ニ付(釀造)法相添此段奉届候也(蒸溜)

年 月 日

右 何 某 印

愛知縣租稅檢査員宛

戸長奥書

第三號

何酒釀造法

麴 何程

一 酏 蒸米 何程

水 何程



合	一留	一掛
蒸 麴 米	水 蒸 麴 米	水 蒸 麴 米
何程	何程 何程 何程	何程 何程 何程

水 何程

(蒸溜酒ハ左ノ如ク認ムヘシ)

燒酎蒸溜法

一一ト釜蒸溜(酒粕何々) 何程

此燒酎 何程 但(元粕何程何程何々何程)ニ付何程垂  
右之通ニ御座候也

國郡區町村番地

年月日 何 某 印



愛知縣租稅檢査員宛

戸長奥書

第四號

自家用料何酒増(減)造御届

國郡區町村番地

何 某

一元 (白米) (麥々) (何々)

何程

何年何月何日御届高

此 (讓造) (蒸溜) 見込何酒何程

一元 (白米) (麥々) (何々)

何程

今度増石ノ分

此 (讓造) (蒸溜) 見込何酒何程

合元 (白米) (麥々) (何々)

何程

(増石ノ爲メニ製造月日ヲ伸縮スルモノハ此但書ヲ加フヘシ)

此 (讓造) (蒸溜) 見込何酒何程

但 着手 何月何日 製成 豫期 何月何日

(減造届ハ左ノ如ク認ムヘシ)

一元 (白米) (麥々) (何々)

何程

何年何月何日御届高

此 (讓造) (蒸溜) 見込何酒何程

内



元(白米)  
(何々)

何程

今度減石之分

此(讓造)  
(蒸溜) 見込何酒何程

差引

元(白米)  
(何々)

何程

製造之分

此(讓造)  
(蒸溜) 見込何酒何程

(減石ノ爲メニ製造月日ヲ伸縮  
スルモノハ此但書ヲ加フヘシ)

但

着手 何月何日  
製造豫期 何月何日

右ハ明治何年度自家用料酒製造見込石前書之通増(減造  
仕候ニ付)(讓造)法相添(郡區長ヘノ届書ニハ  
讓造蒸溜法ヲ除ク) 此段奉届候也

年 月 日

右

何 某 印

(愛知縣租稅檢査員)

(郡區長

宛

戸長奥書

策五號

自家用料酒種目變換御届

國郡區町村番地

何 某

一元(白米)  
(何々) 何程

(種目變換ノ爲メニ製造月日ヲ  
伸縮スルモノハ此但書ヲ加フ)



此(釀造)見込何酒何程 但製成手 何月何日

右ハ明治何年度自家用料何酒製造見込何月何日御届仕  
置候處前書之通種目變換仕候間(釀造)法相添(郡區長)ハ  
釀造蒸溜法ヲ除ク 此段奉届候也

(見込石ノ内幾分ヲ變換スルモノハ左ノ如ク認ム

一元(白米)何程 何年何月何日御届高

此(釀造)見込何酒何程

内(種目ノ變換ノ爲メニ製造月日ヲ伸

元(白米)何程 但製成手 何月何日

此(釀造)見込何酒何程 (全上)

元(白米)何程 但製成手 何月何日

此(釀造)見込何酒何程

右ハ明治何年度自家用料酒見込石ノ内前書ノ通種目變  
換仕候間(釀造)法相添(郡區長)ハ 此段奉届候也

年 月 日 何 某印



(愛知縣租稅檢查員)宛  
(郡區長)

戸長奥書

第六號

自家用料何酒第何回(釀造)御届

國郡區町村番地

何 某

何年度一期見込元(白米)何程

此製造見込何酒何程ノ内

一元(白米)何程

何年何月何日御届高

此(釀造)何酒何程

一元(白米)何程

今度(釀造)スヘキ分

此(釀造)何酒何程

但(着手)製成(豫期)何月何日  
右製造仕候ニ付此段奉届候也

年 月 日

右 何 某 印







(以下之ニ準シ總テ記載スヘシ)

(搾リ器械ヲ所持スルモノハ如此別廉ニ記載スヘシ)

製酒ニ用ヒサル分

- 一酒槽 何個
- 一層梓 何個
- 一男柱 何個
- 一締メ木 何個
- 一掛袋 何個
- 一垂瓶 何個

第八號

(表紙) (此帳簿ハ半紙横帳ニ製スヘシ)

自家用料酒類製造仕込帳

國郡區町村番地

何之某

配ノ部

(仕込又ハ買入ノ都度記載スヘシ)

何月何日

- 蒸米 何程
- 麴 何程
- 自製ノ分
- 汲水 何程



何月何日	此配石數	何程
一 酖	何程	國郡區町村番地蓄麴(製造)人 何ノ某ヨリ買入
何月何日	何程	國郡區町村番地 何ノ某ヨリ買入
一 麴	何程	國郡區町村番地 何ノ某ヨリ買入
何月何日	何拾何貫目	國郡區町村番地 何ノ某ヨリ買入
一 酒粕	何程	自製ノ分
何月何日	何程	濁酒仕込ノ部
一 麴	何程	

第一回	何程	買入ノ分又 ハ自製ノ分
何月何日	何程	
掛	何程	何程
蒸米	何程	何程
麴	何程	何程
汲水	何程	何程
何月何日	何程	
留	何程	何程
蒸米	何程	何程
麴	何程	何程
汲水	何程	何程



合	蒸米	何	程
	麴	何	程
	汲水	何	程

此濁酒 何斗 但何月何日製成

第二回

(以下前ノ如ク記載スヘシ)

燒酎蒸溜ノ部

第一回

何月何日

一元粕

何貫目

但幾釜

此燒酎何升

此粕何貫目

第二回

(以下前ノ如ク記載スヘシ)

自用ノ部

何月何日

一濁酒

何合

何月何日

一濁酒

何合

何月何日



一 燒耐

何合

何月何日

一 燒耐

何合

(以下前ノ如ク記載スヘシ)

愛知縣令第十三號

明治十九年十月十四日

本年<sup>本</sup>縣令第六號ハ炭疽熱病勢衰タルニ付流行地ト認定シタル碧海幡豆額田西加茂寶飯ノ五郡牛馬出入往來ノ停止ヲ解ク

縣令第十四號

明治十九年十一月六日

知多郡撰舉縣會議員一名闕員ニ付本月中全郡ニ於テ該

補闕員及外三名ノ補闕員撰舉會ヲ開設ス

愛知縣令第十五號

明治十九年十一月十一日

管下ニ於テ漁業ヲ營ムモノハ左ノ準則ニ據リ組合ヲ設ケ規約書ヲ作り縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

漁業組合準則

第一條

漁業

水産ノ動植物ヲ採捕ヲ併稱ス

ニ從事スルモノハ適宜區畫

ヲ定メ組合ヲ設ケ規約書ヲ作り縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

但漁者僅少ニシテ他ノ漁場ニ關係セサル地ハ縣廳ノ認定ヲ受ケ組合ヲ設置セサルヲ得



第二條 組合ハ營業ノ弊害ヲ矯正シ利益ヲ増進スルヲ  
目途トスヘシ

第三條 組合ハ左ノ二類トス

第一類 捕魚採藻 遠海漁業若クハ大地引臺 各其種類

網捕鮫鮮漁昆布採収ノ類

第二類 河海湖沼沿岸ノ地區ニ於テ各種ノ漁業ヲ混

同シテ組合ヲナスモノ

第四條 前條第二類ノ漁業ニシテ漁場ノ相連帶スルモ  
ノハ必ス一組合トナスヘシ

第五條 組合ノ規約書ニ掲クヘキ事項ハ左ノ如シ

- 一 組合ノ名稱及事務所ノ位置
- 二 組合ノ目的
- 三 役員撰擧法及權限
- 四 會議ニ關スル規程
- 五 加入者及退去者ニ關スル規程
- 六 違約者處分ノ方法
- 七 費用ノ徵收及賦課法
- 八 捕魚採藻ノ季節ヲ定ムル事
- 九 漁具漁法及採藻ノ制限ヲ立ル事
- 十 漁場區域ニ關スル事



十一 前各項ノ外組合ニ於テ必要トナス事項

第六條 組合ハ規約ヲ更正シ若クハ其組合ヲ分立合併セントスルトキハ縣廳ノ認可ヲ請フベシ

第七條 組合ハ他ノ組合ト聯合會ヲ設ケ規約ヲ爲シ若クハ之ヲ更正セントスルキハ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 他縣下ニ渉ル組合及ヒ聯合會ノ規約ハ交渉縣廳ヲ經テ農商務省ノ認可ヲ受クベシ

但規約ヲ更正シ若クハ其組合ヲ分立合併セントスルトキモ亦本條ニ據ル

第九條 他縣下ニ渉ル組合ハ便宜ノ地ニ事務所本部ヲ

設クヘシ

第十條 前條事務所ヲ他縣下ニ設クルトキハ當縣下ニ事務所支部ヲ設置スヘシ

愛知縣令第十六號 明治十九年十一月十二日

荷積車中常ニ副木ノ類ヲ用ヒ荷臺ヲ増補スルモノハ其坪數ヲ合算課税スヘキモノニ付使用以前届出検査ヲ受クヘシ

但現今已ニ増補所持スルモノハ本月三十日限り届出ヘシ

愛知縣令第十七號 明治十九年十一月十五日



明治十八年度地方稅支出豫算不足補充及收入追加豫算並二十九年年度收支追加豫算縣會及區部會郡部會ノ議決ヲ經テ別紙之通相定ム

明治十八年度郡區連帶地方稅支出豫算不足補充

一金貳百四拾壹圓四拾七錢四厘

諸達書及揭示諸費

但諸達書費

一金五百貳拾五圓三拾六錢八厘

縣監獄費

但已決囚諸費

合金七百六拾六圓八拾四錢貳厘

內

金六拾八圓七拾三錢三厘

區部支辨

金六百九拾八圓拾錢九厘

郡部支辨

明治十八年度區部地方稅收入追加豫算

一金六拾八圓七拾三錢三厘

十八年度收出差引殘金

明治十八年度郡部地方稅支出豫算不足補充

一金千貳百五拾圓八拾九錢貳厘

戶長以下給料旅費

但雜給

明治十八年度郡部地方稅收入追加豫算

一金千九百四拾九圓壹厘

十八年度收出差引殘金

明治十九年度郡區連帶地方稅支出追加豫算



一金四千圓

衛生及病院費

內譯

金四千圓

傳染病豫防費

內

金三百五拾八圓五拾貳錢貳厘

區部支辨

金三千六百四拾壹圓四拾七錢八厘

郡部支辨

明治十九年度區部地方稅支出追加豫算

一金六百八圓

警察費

內

金四百六拾七圓六拾九錢貳厘

地方稅

金百四拾圓三拾錢八厘

國庫下渡金

此譯

金四百四拾三圓

雜給

金百六拾五圓

廳費

一金四拾圓

警察廳舍建築修繕費

內

金三拾圓七拾六錢九厘

地方稅

金九圓貳拾三錢壹厘

國庫下渡金

此譯

金四拾圓

修繕費



合計金六百四拾八圓

明治十九年度區部地方稅收入追加豫算

一金八百五拾六圓九拾八錢三厘

十八年度收出差引殘餘

明治十九年度郡部地方稅支出追加豫算

一金貳千六百八拾七圓

警察費

內

金貳千六拾六圓九拾貳錢三厘

地方稅

金六百貳拾圓七錢七厘

國庫下渡金

內譯

金貳千六百拾四圓

雜給

金七拾三圓

廳費

一金千四拾九圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

內譯

金千四拾九圓

雜

給

合計金三千七百三拾六圓

明治十九年度郡部地方稅收入追加豫算

一金千七百七拾四圓拾六錢六厘

地租

一金千六百八拾貳圓拾錢

戶割

但十九年度地租豫算高金百七拾七萬四千六百六拾六圓  
地租金壹圓=付金壹厘  
數割  
但戶數貳拾八萬三百五拾  
戶壹戶=付金六厘



一金三千三百壹圓拾三錢五厘

十八年度收出差引殘餘

合計金六千七百五拾七圓四拾錢壹厘

愛知縣令第拾八號

明治十九年十一月十七日

賣藥行商者ヨリ無印紙ノ賣藥ヲ買受ケ又ハ預入所持スルモノアリ該藥品タル素ヨリ犯則ヲ免カレサレハ其買入預入年月日及ヒ營業者行商者氏名住所藥劑方數等精密届出スヘキ旨昨十八年十二月郡區役所戸長役場へ諭達ニ及ヒ己ニ人民各自ノ届出ニ據リ調査ヲ遂クルニ夥多ノ中或ハ買受預入ノ年月日若クハ製藥者行商者氏名住所不分明ノモノ不少到底何人ノ製藥且行商ニ係ルヲ

知ルニ由ナシ依テ該藥品ヲ賣渡シ預ケ入タルモノ來ル廿年一月末日迄ニ申出ルモノハ取調ノ上相當處分ヲ爲シ若シ期限内申出サルモノハ該藥品ヲ便宜毀却ス  
愛知縣令第拾九號  
明治十九年十一月十七日

今般同郡區内他町村へ寄留者届方左ノ通相定メ來ル十二月一日ヨリ施行ス

第一條 他町村ニ寄留シタルトキ自己ノ所有地家屋ナレハ寄留者ヨリ又他人ノ所有地ニ自己ノ家自巳ノ所有地ニ他人ノ家ナレハ寄留者及ヒ地主又ハ家主ヨリ地所家屋トモニ他人ノモノヲ借



受寄留スルモノナレハ寄留者及ヒ地主又ハ家主又ハ其地所其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ其地ノ戸長ニ届出且同時ニ本籍戸長へ届書發送スヘシ

第二條 寄留地ヲ去ルトキ自己ノ所有地家屋ニ於テハ寄留者ヨリ其他ニ於テハ地主又ハ家主又ハ其地所其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ其地戸長ニ届出ヘシ  
第三條 寄留者本籍地ニ歸リタルトキハ戸主又ハ本人ヨリ十日以内ニ戸長へ届出ヘシ

第四條 正當ノ理由ナクシテ前數條ニ違背シタル者ハ本縣違警罪ヲ以テ罰セララルヘシ

愛知縣令第二十號 明治十九年十一月廿日  
明治十八年本縣甲第百拾四號 監獄差入モノ、件 布達廢止ス  
愛知縣令第二十一號 明治十九年十一月三十日

明治十八年<sup>十一月</sup>當縣甲第百六號布達違警罪目第二條へ左ノ一項ヲ追加シ來ル十二月一日ヨリ實施シ同第一條第五項第六項ヲ右同日ヨリ廢止ス又同第一條第十二項ヲ左之通改正ス  
但同第一條第七項ヲ第五項トシ以下各項ヲ操上トス



第一條

第十二 同業又ハ漁業組合準則ニ依リ其組合ノ設ケ

アル地區内ニ於テ之ニ加盟セサル者

第二條

第十四 當縣令ニ違背シ寄留届ヲナサ、ル者

愛知縣令第二十二號 明治十九年十二月八日

本年當縣令第十九號第四條及違警罪目第二條第十四項ハ删除ス

愛知縣令第二十三號 明治十九年十二月十四日

寄留及出生死亡結婚離婚等届書式別紙之通相定メ候條

右ニ照準届出ヘシ

但明治十一年本縣甲第十三號<sup>出生死亡等届書式</sup>達<sup>ハ</sup>廢止ス  
(別紙)

第一號

全戸寄留之例入寄留届

本籍何縣何郡何町何番戶<sup>士族平民</sup>

亡父名<sup>二男</sup>

戸主

氏

名

何年何月何日生

亡父名妻

母

名



何年何月何日生  
亡父名長女

妹 名 何年何月何日生

妻 名 何年何月何日生

長男 名 何年何月何日生

右何年何月何日當縣何區何村何番戶  
持地持家 借地借家  
候ニ付御届仕候也  
全戸寄留

年月日 右 氏 各印

右地主(家主)或「地所(家屋)管理人」  
氏 名印

何村戸長

氏 名 殿

第二號

家族寄留ノ例入寄留届

本籍(記載方前全斷)

戸主氏名兄

父名長男

世帯主 名



何年何月何日生

名妻

名

何年何月何日生

名二女

何年何月何日生

右何年何月何日當縣何郡何町何番戶持地持家  
借地借家へ妻外壹名携帶寄留候ニ付御届仕候也

(届人及宛名式前全斷)

第三號

單身寄留ノ例入寄留届

本籍(記載方前全斷)

戶主(又ハ戶主氏名ニ男或ハ弟)

氏(家族ハ氏ヲ記セス)

何年何月何日生

右何年何月何日當縣何郡何町何番戶(寄留)  
士族居住平民氏名方へ單身寄留候ニ付御届仕候也

(届人及宛名式前全斷)

第四號

入寄留替届

本籍(記載方前全斷)

氏名(記載方前全斷)



右當縣何郡何町何番戶(持地持家)(或ハ氏名方)ニ入寄留罷在候處何年何月何日ヨリ當郡區何町何番戶(持地持家)(或ハ氏名方)へ寄留替候ニ付御届仕候也

(届人及宛名式前全斷)

第五號

入寄留退去届

本籍(記載方前全斷)

氏名(記載方前全斷)

但一家舉テ退去スルトキハ氏名外何人ト記シ妨ケナシ

右何府何郡何町何番戶自分持地持家借地借家方ニ寄留罷在候處何年何月何日本籍へ退去(或ハ何府何郡何町何村へ寄留替)候ニ付御届仕候也

右地主(家主)或ハ地所(家屋)管理人  
氏名印

(宛名式前全斷)

第六號

家族寄留ノ例出寄留届

何町何番地士族平民  
戶主氏名  
父名



右全人妻 名  
 右全人二男 名  
 母 名  
 弟 名  
 右何年何月何日何縣何郡何町何番地持地持家 借地借家へ妻外一名携帶  
 寄留候ニ付御届仕候也

右  
 氏 名印  
 右地主〔家主〕或ハ地所家屋管理人  
 氏 名印  
 (宛名式前全斷)

第七號

單身寄留ノ例出寄留届

何町何番地士族 平民  
 戶主氏名何男 女又ハ兄弟姉妹 名

右何年何月何日何縣何郡何町何番戶寄留 居住氏名方へ寄留候ニ  
 付御届仕候也

(届人及宛名式前全斷)

第八號



出寄留替届

本籍(記載方前全斷)

氏名(記載方前全斷)

右何<sup>府</sup>縣何<sup>區</sup>何<sup>町</sup>何<sup>番</sup>戸<sup>持地持家</sup>或ハ氏名方ニ出寄留罷在候處何年何月何日ヨリ何<sup>府</sup>縣何<sup>區</sup>何<sup>町</sup>何<sup>番</sup>戸<sup>持地持家</sup>(或ハ氏名方)へ寄留替候ニ付御届仕候也

(届人及宛名式前全斷)

第九號

出寄留復歸届

本籍(記載方前全斷)

氏名(記載方前全斷)

右何<sup>府</sup>縣何<sup>區</sup>何<sup>町</sup>へ寄留罷在候處何年何月何日復歸候ニ付御届仕候也

右月主(又ハ本人)

氏

名印

(宛名式前全斷)

備考

一入寄留届ハ寄留地へ届出ル書式トス本籍へ發送スヘキ届書ハ六號以下ノ出寄留書式ニ準スヘシ

一届人妻タルトキハ其氏ヲ書スルニ及ハス



一 届人若シ戸長氏名ヲ知リカタキトキハ何戸長役場御中ト記シ苦シカラス  
一 用紙ハ半紙野ヲ用ヒ壹通ツ、差出モノトス  
一 本書ハ單ニ一二ノ例ヲ示シタルモノナレハ他ハ總テ之ニ準シ其當ニ適セシムヘシ

第壹號

出生届

何町何番戸平士族  
父 氏 名  
母 妻 名  
二男 名

右名何月何日出生候ニ付御届仕候也

(又ハ右名何年何月何日何府何郡何區何村ニ於テ寄留(旅行)中出生候ニ付御届仕候也)

右戸主 氏 名 印

何町戸長氏名殿

備考

一 本書ハ本籍地戸長へ届出ル書式トス  
一 戸主ニアラサルモノ届人ナルキハ其肩書戸主氏名及身續ヲ書シ氏ヲ記セス名ヲ書シ印ヲ捺スヘシ尤家族親族(又ハ關係人)數人アルモノハ二人以上連署スヘシ  
一 届人異籍ナルキハ其族籍及親族或ハ關係人ト肩書シ猶戸主ニアラサルモノハ其肩書



戸主氏名及身續ヲ書スル等前ニ同シ

一朱書ハ寄留人ヨリ其者ノ本籍地ヘ發送スル届書ノ文例トス

一届人若シ戸長氏名ヲ知リカタキ時ハ何戸長役場御中ト記シ苦シカラス

一用紙ハ半紙野ヲ用ヒ壹通ツ、差出セノトス

一本書ハ單ニ一ニノ例ヲ示シタルモノニ付他ハ總テ之ニ準據シ其當ニ適セシムヘシ

第二號

出生届

何町何番戸士族平民氏名

父 長男 名

母 婦 名

長女 孫 名

書式及届人并ニ宛名式前同斷

備考

一本籍士族平民ト記シタル下ヘハ必ラス戸主ノ氏名ヲ記スルモノトス以下各書式總テ之ニ

同シ但首書ノ氏名戸主ナルトキハ第一號ノ例ニヨル

第三號

出生届

何町何番戸平民氏名

母 妹 名

私生男子 名



書式及届人并ニ宛名式前同斷  
第四號

出生届

何町何番戸(士族氏名方)寄留  
本籍何縣何郡何村(平民氏名)

父 弟 名  
母 弟妻 名  
長男 甥 名

右名何月何日出生候ニ付御届仕候也  
届人及宛名式前同斷

備考

一本書ハ寄留地戸長へ届出ル書式トス  
一本籍地へ發送スル届書ハ第一號ノ例ニヨルモノトス

第五號

死亡届

何町何番戸平民氏名  
母 名

右名何月何日死亡候ニ付御届仕候也  
(又ハ右名何年何月何日何縣何郡何村ニ於テ寄留(旅在)中死亡候ニ付御届仕候也)



届人及宛名式前同斷

備考

一本書ハ本籍地へ届出ル書式トス

第六號

死亡届

何町何番戸(士族平民名方)寄留

本籍何府縣何郡區何町何士族平民氏名

二男

名

右名何月何日死亡候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

備考

一本書ハ寄留地戸長へ届出ル書式トス

一本籍地へ發送スル届書ハ第五號ノ例ニ據ルモノトス

第七號

就籍届

何町何番戸

氏

名

何年何月何日生

右無籍之處何月何日願濟ニ付入籍相成度候也

届人及宛名式前同斷



第八號

結婚届

何町何番戸平民氏名

長男名妻

婦

名

何年何月何日生

右何年何月何日何<sub>府</sub>何<sub>郡</sub>何<sub>區</sub>何<sub>町</sub>何番戸<sub>士族</sub>平民氏名二女ヲ娶リ  
候ニ付入籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

備考

届文中士族平民ノ下ハ必<sub>ク</sub>ス戸主ノ氏名ヲ書スルモノトス以下之ニ準ス

第九號

縁女届

何町何番戸士族氏名

長男名縁女

名

何年何月何日生

右何年何月何日何<sub>府</sub>何<sub>郡</sub>何<sub>區</sub>何<sub>町</sub>何番戸平民氏名妹ヲ貰ヒ受  
候ニ付入籍相成度候也

届人及宛名式前同斷



第十號

養嗣子(及結婚)届

何町何番戸平民氏名

養嗣子 名

何年何月何日生

右何年何月何日何府何郡何町何村何士族何平民氏名二男ヲ養嗣子(長女)トシテ貰受ケ候ニ付入籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十一號

離婚届

何町何番戸士族氏名

何女(姉妹) 名

右何年何月何日何府何郡何町何村何氏名長男名妻離婚復籍候ニ付入籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十二號

分家届

何町何番戸平民

氏 名

何年何月何日生



妻

名

何年何月何日生

右何年何月何日何府何郡何區何町士族氏名二男ニテ該家族ニ候處前記番戶借地借家分家候ニ付入籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十三號

結婚届

何町何番戶士族平民氏名妹

父名三女

名

右何年何月何日何府何郡何區何町何番戶平民戶主氏名弟名妻ニ嫁シ候ニ付送籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十四號

養子届

何町何番戶平民氏名二男

名

右何年何月何日何府何郡何區何町何番戶士族氏名養子ニ差遣候ニ付送籍相成度候也

届人及宛名式前同斷



第十五號

相續人届

何町何番戸平民氏名

父名四男

弟

名

右何年何月何日何府何郡何町何番戸平民氏名實兄ナルヲ以テ相續人ニ差遣シ候ニ付送籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十六號

入夫届

何村何番戸士族氏名

弟

名

右何年何月何日何府何郡何町何番戸士族氏名入夫候ニ付送籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十七號

離婚届

何村何番戸士族平民氏名妻

名

右何年何月何日何府何郡何町何番戸氏名二女離婚ニ付送



籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十八號

離縁届

何村何番戸平民氏名養女

名

右何年何月何日何縣何郡何村何番戸平民氏名三女離縁候ニ付送籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第十九號

轉住届

何村何番戸士族

氏

妻

長女

名 名 名

右何年何月何日何府何郡何村何番戸借地借家轉住候ニ付送籍相成度候也

届人及宛名式前同斷

第二十號

戸内結婚届

縣令

五十



何村何番戶士族氏名

長男

名

婦

名

右何年何月何日結婚候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

第二十一號

戸内離婚届

何村何番戶平民氏名

養子

名

養子名妻

長女

名

右何年何月何日離婚候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

第二十二號

廢嫡届

何村何番戶士族平民氏名

長男

名

右何年何月何日願濟廢嫡候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

第二十三號



失踪(逃亡)届

何村何番戸士族氏名

叔父

名

右何年何月何日ヨリ失踪(逃亡)候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

第二十四號

失踪逃亡復歸届

何町何番戸平民氏名

二男弟

名

右失踪逃亡ノ處何月何日復又ハ現在歸(或ハ何縣何郡何

村ニ現在候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

第二十五號

改名届

何町何番戸士族

氏

名

右舊稱何名ヲ何月何日願濟改名候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

第二十六號

移轉届



何町何番戸士族

氏

名

右當村何番戸ヨリ前記番戸(借家)へ移轉候ニ付御届仕候也

居人及宛名式前同斷

第二十七號

戸籍訂正届

何町何番戸士族

氏

名

從弟

名

右戸主ノ續柄弟ハ從弟ノ誤ニヨリ訂正何月何日願濟ニ付御届仕候也

居人及宛名式前同斷

第二十八號

別居届

何町何番戸士族氏名

長男

名

長男名妻

婦

名

長男名長女



孫 名

右ハ何年何月何日ヨリ當町何番戸持地持家  
借地借家ハ當分居住候  
ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

備考

一別居届ハ同町内ニテ居住ヲ異ニスルモノニ限ル

第二十九號

別居届

何町何番戸士族氏名  
平民氏名

二男 名

右ハ何年何月何日ヨリ當町何番戸士族  
平民氏名方ハ被雇或ハ  
何々中該家ニ居住候ニ付御届仕候也

届人及宛名式前同斷

愛知縣令第二十四號 明治十九年十二月二十三日

巡查召募規則別册ノ通改正ス

〔別册〕

巡查召募規則

第一條 巡查ハ必ス試験ノ上採用スルモノトス

第二條 巡查ハ品行方正ニシテ左ノ各項ニ適スルモノ

ヲ合格トス



一年齡 滿二拾年以上四拾年以下ニシテ徵兵ニ相當セサル者

二體格 身幹曲尺五尺以上ニシテ強壯ナル者

三法律規則 刑法治罪法警察法規ノ大意ニ通スル者

四歴史 本邦歴史ノ大畧ニ通スル者

五作文 記事論説文又ハ書牘文ヲ作り得ル者

六算術 加減乗除ヲ爲シ得ル者

七寫字 楷行書ヲ作り得ル者

第三條 前條ニ適合スト雖トモ左ニ掲クル事項アル者ハ採用セス

一重罪ノ刑ニ處セラレ又ハ輕罪重禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ同上ノ刑ニ處セラレヘキ罪ヲ犯シ單ニ監視ニ附セラレタル者及輕罪輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經過セサル者又ハ舊法施体ノ刑ニ處セラレタル者

二賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタル者

三巡查懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ若クハ故ナク巡查ヲ辭職シ二年以上ヲ經過セサルモノ  
四身分不相應ノ負債アル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ  
辨償ノ義務ヲ終ヘサル者



五酒癖又ハ暴行ノ癖アル者

六本縣下ニ於テ身元正確ナル保証人ナキ者

第四條 試験ノ成績ニ依リ合格者ヲ分ツテ甲乙二種ト

シ先ツ甲種合格ノ者ヲ採用シ尙ホ不足アルニ際シ乙種合格ノ者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第五條 巡查採用ノ上ハ滿五年ヲ經ルニアラサレハ辭職ヲ許サス

第六條 巡查志願者ハ別紙書式ニ準シ其志願書ニ履歷書ヲ添へ警察本部へ差出スヘシ

書式(用紙半紙)

巡查志願書

何府何國何郡何町何番邸華士族平民

何某何男又ハ叔甥兄弟孫

何府何國何郡何町何番邸某方寄留

志願人

何

某

年月日生何年何ヶ月

何縣何國何郡何町何番邸華士族平民

何縣何國何郡何町何番邸某方寄留

身元引受人

何

某

右ハ本縣巡查奉職仕度候ニ付御檢査ノ上御採用被成下



度最モ御採用ノ上ハ本人一身ニ關スル儀ハ何事ニ限ラ  
ズ引受人ニ於テ引受候間此段連署ヲ以テ奉願候也

年月日

右

何

某印

右

何

某印

愛知縣知事何某殿

前書願之趣相違無之候條奥書候也

何那何區何町村戸長

何

某印

履歷書

何府華士族平民(舊何藩)

何

某

明治年月日

一何々申付候事

何省廳

明治年月日

一補何々

何府縣

明治年月日

一任何々

何々

明治年月日



一 免本官

何々

明治年月日

一 何々ニ付賞罰

一 何年何月何校ニ於テ又ハ何某ニ就キ何學漢洋修業又ハ

何職ニ從事何年何月何々ノ事故ニ依リ退校又ハ其業

ヲ廢ス云々

右之通ニ候也

年月日

何

某印

愛知縣令號外

明治十九年九月二日

沿海町村

本日告示第六號ヲ以テ船舶検査ノ儀告示候付テハ本年  
五月十九日附 甲號外布達大坂府兵庫縣下ヨリ來ル船舶全様検査  
ヲ受クヘシ

愛知縣令號外

明治十九年九月三日

本年當縣甲第五拾七號並縣令第三號ヲ以及布達候本年  
度郡部地租割戸數割收入豫算追加之分ハ本月三十日限  
全額相納ムヘシ

愛知縣令號外

明治十九年九月十七日

沿海町村

虎列刺病流行地ヨリ來ル船舶ハ回漕業及荷主若シクハ



船宿等ニ於テ乗組人ノ上陸積荷ノ陸揚ヲ止メ置最寄警察署分署交番所又ハ戸長役場へ届出検査受クヘキ筈之處流行地解除ノ告示ヲ爲シタル上ハ該地方ヨリ來ル船舶ニ限り検査受クルニ及ハス

愛知縣令號外  
明治十九年十一月十二日

- 東春日井郡小牧村外十三ヶ村
- 西春日井郡高田寺村外四十ヶ村
- 丹羽郡羽黒村外貳拾五ヶ村ノ内
- 中島郡下津村
- 海東郡上條村外貳拾ヶ村

郷瀨川ニ係ル經費支出徴收方法評決ノ爲メ別紙ノ通關係區域及議員々數等相定メ水利土功會ヲ開設ス但丹羽葉栗郡長ヲシテ之ヲ管理セシム

(別紙)

關係區域

東春日井郡

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 小牧村    | 間々原新田 | 小牧原新田 |
| 岩崎村    | 三ッ淵村  | 岩崎原新田 |
| 三ッ淵原新田 | 村中原新田 | 河内屋新田 |
| 間々村    | 村中村   | 入鹿出新田 |



西ノ島村	舟津村	六ッ師利
西春日井郡	片場村	高田寺村
熊ノ庄村	藤島村	小針已新田
小針已新田	小計入鹿新田	德重村
藥師寺村	井瀨木村	彌勒寺村
能田村	野崎村	沖野村
北野村	石橋村	寺野村
	法成寺村	西田中村
	鹿田村	
	鍛冶ヶ一色村	
	市ノ久田村	
	小本村	
	六ッ師利	

中ノ郷村	宇福寺村	落合村
下ノ郷村	一場村	朝日村
清洲村	久地野村	二子村
九ノ坪村	加島新田	平田村
阿原村	助七新田	須ヶ口村
土器野新田	西堀江村	
丹羽郡		
羽黒村	河北村	大屋敷村
秋田村	豐田村	小折村
加納馬場村	井上村	曾本村



上	下	小	五	外	川	岩	石
條	津	口	郎	坪	井	倉	佛
村	村	村	丸	村	村	村	村
東	海	中	稻	高	傳	曾	神
今	東	嶋	置	雄	法	野	野
宿	郡	郡	村	村	寺	村	村
村			ノ	村	村	村	村
			内				
			富	橋	五	大	八
			岡	爪	日	山	釵
			村	村	市	寺	村
			ノ	村	場	村	
			内		村		
西							
今							
宿							
村							

上	八	三	長	榎	茶
萱	ッ	本	須	津	屋
津	屋	木	賀	村	新
村	村	村	村		田
中	北	砂	正	江	七
萱	間	子	治	松	島
津	島	村	一	村	新
村	村		村		田
下	東	万	伏	東	藤
萱	條	場	屋	福	高
津	村	村	村	田	新
村				村	田

議員々數

議員

拾九人

但區域内ニ於テ特ニ撰擧スヘシ

愛知縣令號外

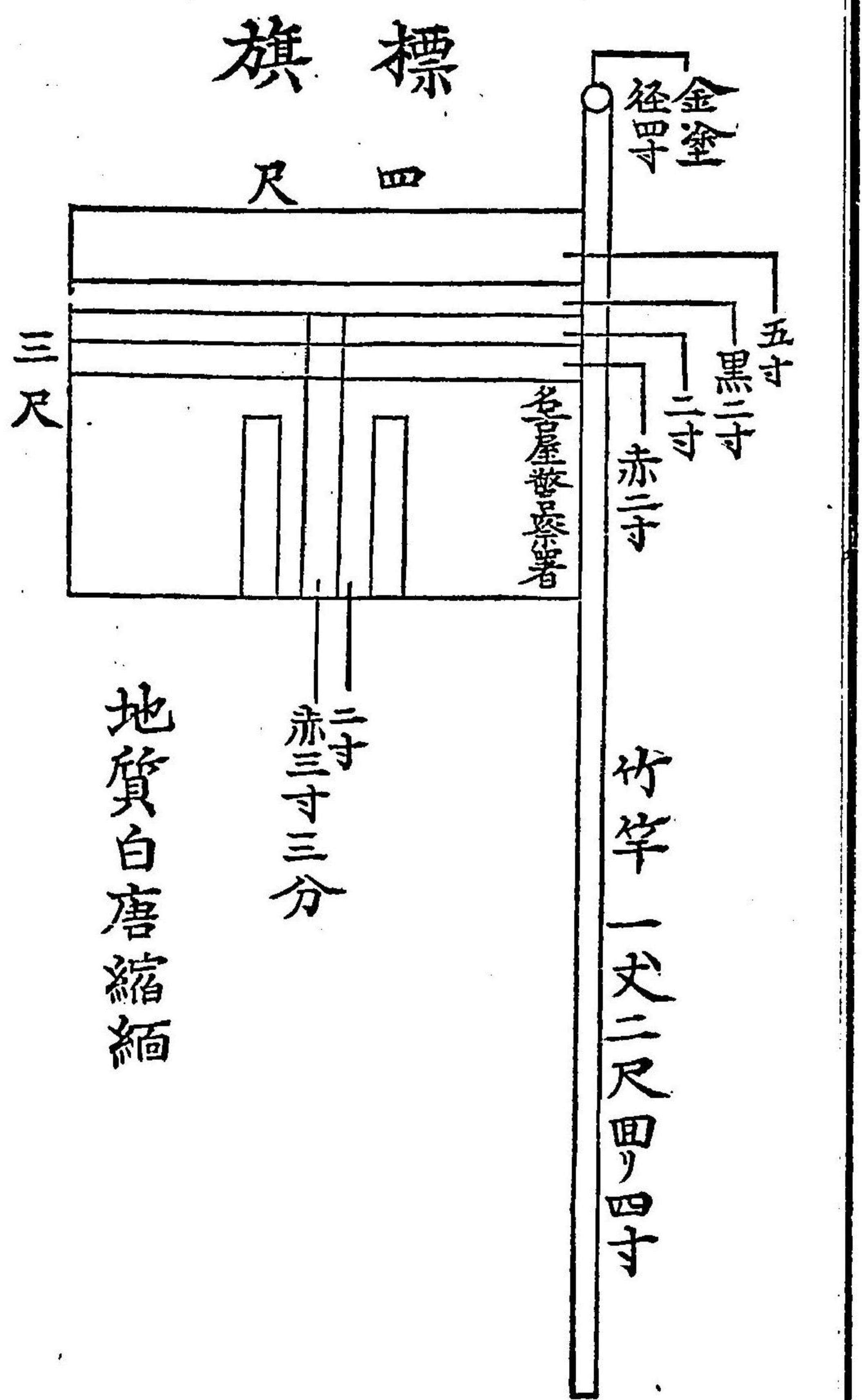
明治十九年十二月廿日



名古屋區

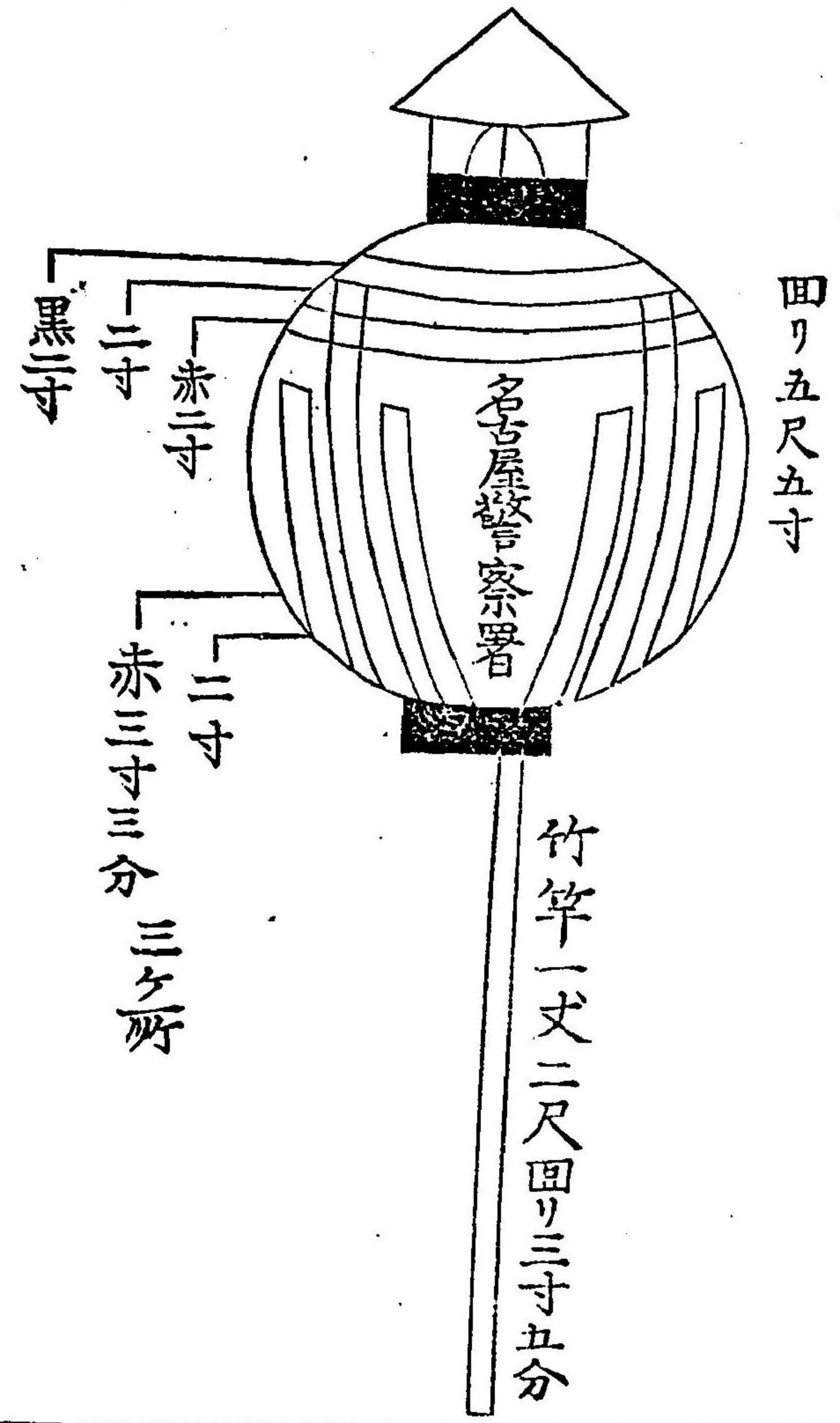
明治十七年七月當縣甲號外布達名古屋區消防規則中左之  
通改正追加ス

第三條中<sup>割註</sup>下警察署ノ次へ分署ノ二字ヲ加フ第九條  
雛形中左之如ク改ム  
但肩印ハ從前之通り

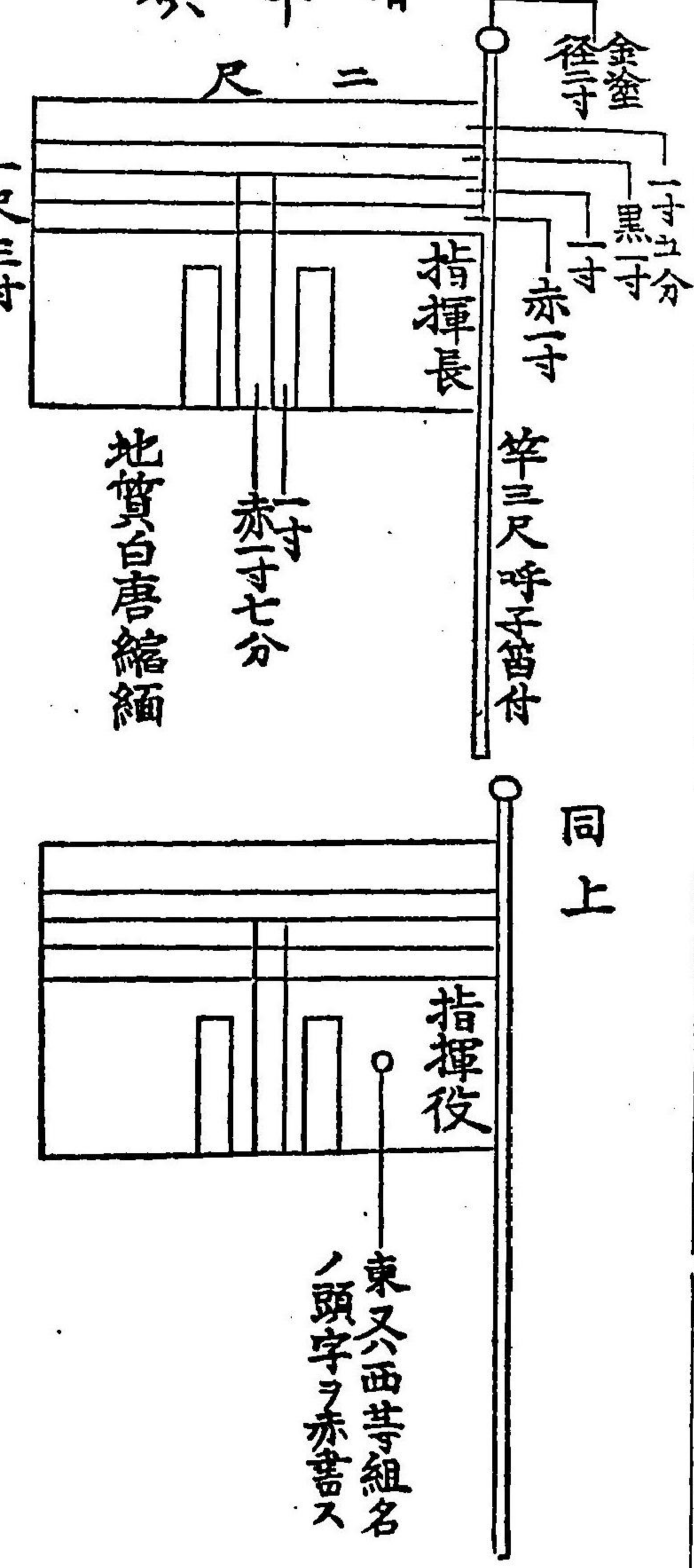




提燈



指揮旗



第十二條中門前町交番所トアルナ橋町分署五條橋交番所トアルナ江川町分署東田町交番所トアルナ鍋屋町分署ト改ム



第十三條火ノ見ノ位置ハ左ノ如シ  
名古屋警察署

傳馬町 元交番所際

末廣町 全

門前町 全

吾妻町 全

納屋橋 全

武平町 全

出來町 全

五條橋 全

古渡町 交番所際

大曾根町 全

押切町 全

彌宜町 全

橘町 分署際

鍋屋町 全

江川町 全

東田町交番所際

奥田町  
第二十條中交番所ノ三字ヲ削リ分署ノ二字ヲ加ヘ該署所トアル所ノ字ヲ削ル



愛知縣令號外

明治十九年十二月廿四日

西春日井郡清洲村外一ヶ村ノ内

丹羽郡多加木村ノ内

中島郡大矢村外廿六ヶ村ノ内

海東郡茶屋后新田外卅五ヶ村ノ内

本年十一月縣令號外福田井組水利土功會區域中左ノ通追加ス

中島郡

國府宮村ノ内

訓令甲第壹號

明治十九年八月十七日

郡區役所

戸長役場

今般縣令第壹號ヲ以テ縣令公布式及施行期限相定候付テハ郡區役所戸長役場之内從前揭示場ノ設ケ無之向ハ速カニ建設シ自今發布ノ縣令ハ役所役場へ到達後必ス七日以上揭示スヘシ

訓令甲第二號

明治十九年八月十九日

郡區役所

戸長役場



鹿兒島縣ニ於テ地方稅ヲ賦課スヘキ營業者ニシテ當縣  
下ニ來リ寄留ヲナス該營業ヲナシタル節其納稅ノ証  
左ナク脫稅ノ事跡顯然タルモノハ其營業ヲ停止シ速ニ  
當縣廳ヘ届出ヘシ

訓令甲第三號

明治十九年八月二十日

郡區役所

戶長役場

歲入取扱順序第三十二條ニ據リ戶長ニ於テ税金ヲ分納  
スルトキ事故アリテ徵稅令書ヲ亡失シタル場合ニ於テ  
ハ左ノ通り取扱フヘシ

一 水火盜難等ニ罹リ徵稅令書ヲ亡失シタルトキハ戶長  
ハ其事由ヲ具シテ郡區長ニ開申スヘシ  
一 郡區長ハ前項ノ開申ヲ得ルトキハ未納殘額ノ徵稅令  
書ヲ發スヘシ  
一 前項未納殘額ノ徵稅令書ハ金額ノ右側ニ左ノ如ク記  
載スヘシ

金何圓何錢ノ内未納殘

訓令甲第四號

明治十九年九月二日

郡區役所

戶長役場



本年<sup>四</sup>月丙第四十八號ヲ以テ相達タル師範學校卒業者服務狀況報告ノ儀本縣師範學校卒業者ニ限リ服務ノ月數ニ關セス毎年四月十月兩度ニ報告セシメ該期限半途ニシテ退職スルモノハ退職ノ際直ニ報告セシムヘシ  
訓令甲第五號  
明治十九年九月四日

郡區役所  
戸長役場

内國稅未納追徵整理順序左ノ通相定メ十六年<sup>九</sup>月乙第七十號全年<sup>月</sup>乙第七十五號十七年<sup>月</sup>乙第四百四十八號本縣達ハ廢止ス

内國稅未納追徵整理順序

第一條 郡區長ハ甲號様式ノ如ク内國稅未納臺帳ヲ調製スヘシ

第二條 内國稅ノ内事故アリテ翌年度十一月三十日マテニ徵收ヲ完了セサルモノハ其年度ノ未納元額トシ臺帳ニ登記スヘシ但後日追徵シタルキハ其時々臺帳ニ記スヘシ

第三條 諸營業及船車稅不納者旅行又ハ失踪シ其財產ノ所在不分明ニシテ公賣處分ヲ爲シ能ハサルモノハ年々未納臺帳ヘ登記シ置而シテ他日本人歸籍又ハ所



在發見シタルキハ未納ニ係ル每期ノ税金追徴スヘシ  
但未納ノ當初ヨリ滿三ケ年ヲ經過シ尙完結セサルモ  
ノハ其際更ニ處分方稟議スヘシ

第四條 前條但書ノ場合ニ於テ處分方完了セシトキハ  
詳細戸長へ通報スヘシ

第五條 郡區長ハ毎年度ノ末ニ於テ乙號書式ノ如ク既  
往年度未納殘高仕譯書ヲ製シ四月十日限り縣廳ニ出  
スヘシ

第六條 郡區長ハ臺帳ニ記載シタル納稅者管内他郡區  
へ移住轉籍スルトキハ不納ニ係ル書類ヲ取纏メ其所

轄郡區役所へ引繼ヲナシ同時ニ縣廳ニ報告スヘシ但  
他管へ移住轉籍スルモノハ直ニ引繼ヲナサス其書類  
ヲ添へ届出ヘシ

第七條 他管ヨリ引繼ノ書類ヲ當廳ヨリ交付シ又ハ他  
郡區長ヨリ引繼ヲ受ケタルトキハ之ヲ臺帳ニ記入シ  
追徴ノ手續ヲ爲スヘシ但郡區長ハ戸長へ詳細通報ス  
ヘシ

第八條 戸長ハ不納者一人別帳ニ依リ丙號様式ノ如ク  
内國稅未納臺帳ヲ調製スヘシ

第九條 戸長ハ臺帳ニ記載シタル納稅者他ニ移住送籍



スルキハ速ニ郡區長へ報告スヘシ  
第十條 戸長ハ未納書類引繼ヲ受ケタルコトヲ郡區長ヨ  
リ通報アルキハ之ヲ臺帳ニ記入スヘシ

(用紙美濃紙)

明治何年度

内國稅未納臺帳

(甲)

郡(區)役所











第一區年月日ト題スル欄内ニハ記帳ノ年月日ヲ記入ス

第二區摘要ト題スル欄内ニハ登記ノ要領ヲ摘記ス

第三區年度區分ト題スル欄内ニハ未納元年度（即當初徴收未済ニマシテ計算除却トナリシキ）ヲ記入スヘシ

第四區未納額ト題スル欄内ニハ既往年度ノ未納金ヲ記入ス

第五區増額ト題スル欄内ニハ既往年度官損金追徴ニ係ル分ヲ記入ス

第六區計ト題スル欄内ニハ其未納額増額ヲ合計記入ス

第七區追納額ト題スル欄内ニハ未納額ニ對シ追納セシ金額ヲ記入ス

第八區未納減額ト題スル欄内ニハ未納額ノ内官損或ハ欠損等ニ係ル金額ヲ記入ス

第九區計ト題スル欄内ニハ其追納額未納減額ヲ合計記入ス

第十區殘高ト題スル欄内ニハ第六區第九區ノ金額ノ差ヲ記入ス

一官損及欠損等ノ分其指令三月三十一日以前ニ係ルモノハ該當年度ノ臺帳ヘ記入シ四月一日以後ニ係ルモノハ翌年度ノ臺帳ヘ記入スルモノトス

一年度ノ末未納臺帳ヲ閉記シタル後ヲ其未納殘高ハ翌年度ノ未納臺帳ヘ轉記スルモノトス



有  
清  
類  
玉



乙)

明治何年度

地 租

既往年度未納殘高仕譯書

地 租

摘 要	未納額			未納減額			追納額			未納殘額		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘
田 租												
未納越高	37	40	0									
官損及欠損高				2	50	0						
未納金追徴ノ分							17	00	0			
官損金何々=付追徴ノ分但何年度分何月何日指令							6	20	0			
官損金何々=付追徴ノ分但何年度分何月何日指令							1	00	0			
何々事故=付未納 4,100												
何々事故=付未納 3,900												
何年度分										8	00	0
何々事故=付未納 1,200												
何々事故=付未納 1,500												
何年度分										2	70	0
計	37	40	0	2	50	0	24	20	0	10	70	0
畑 租												
未納越高	17	00	0									
未納金追徴ノ分							3	13	1			
官損金何々=付追徴ノ分但何年度分指令何號							1	89	0			
何々事故=付未納 10,500												
何年度分										10	50	0



(乙)

明治何年度

地 租

既往年度未納殘高仕譯書

地 租

摘 要	未納額			未納減額			追
	圓	錢	厘	圓	錢	厘	
田 租							
未納越高	37	40	0				
官損及欠損高				2	50	0	
未納金追徴ノ分							
官損金何々=付追徴ノ分但何年度分何月何日指令							
官損金何々=付追徴ノ分但何年度分何月何日指令							
何々事故=付未納	4,100						
何々事故=付未納	3,900						
何年度分							
何々事故=付未納	1,200						
何々事故=付未納	1,500						
何年度分							
計	37	40	0	2	50	0	
畑 租							
未納越高	17	00	0				
未納金追徴ノ分							
官損金何々=付追徴ノ分但何年度分指令何號							
何々事故=付未納	10,500						
何年度分							



明治何年度

地 租

既 往 年 度 未 納 殘 高 仕 譯 書

何 郡 ( 區 ) 役 所

官損及欠損高

未納金追徴ノ分

官損金何々=付追徴ノ分但何年度分何月何日指令

官損金何々=付追徴ノ分但何年度分何月何日指令

何々事故=付未納 4,100

何々事故=付未納 3,900

何年度分

何々事故=付未納 1,200

何々事故=付未納 1,500

何年度分

計

畑 租

未納越高

未納金追徴ノ分

官損金何々=付追徴ノ分但何年度分指令何額

何々事故=付未納 10,500

何年度分

何々事故=付未納 1,479

何年度分

計

2 50 0

17 00 0

6 20 0

1 00 0

8 00 0

2 70 0

37 40 0 2 50 0 24 20 0 10 70 0

17 00 0

3 13 1

1 89 0

10 50 0

1 47 9

17 00 0 5 02 1 11 97 9















(用紙美濃紙)

内國稅未納臺帳

(丙)

何(町)村戸長役場



備考

- 一 未納臺帳記入式ハ左ノ各項ニ因ル
- 第一區年月日ト題スル欄内ニハ記帳ノ年月日ヲ記入ス
- 第二區年度區分ト題スル欄内ニハ未納元年度ヲ記入ス
- 第三區未納額ト題スル欄内ニハ未納金額ヲ記入ス
- 第四區事由ト題スル欄内ニハ登記ノ要領ヲ詳記ス
- 一 未納金ノ完了シタルキハ金額ヲ朱記シ事故ヲ詳記ス
- 一 事由ハ一區内ニ詳記シ難キハ次野ニ及ホスモ妨ケナシ
- 一 未納臺帳ハ目毎ニ見出シテ附シ各項合冊トスルモ妨ケナシ

人力車税

何(町)村 姓

名

年月日	區分		未納金額	事由
	十八年度後半年期	十九年度前半年期		
	金壹圓		明治十八年十二月廿日失路財産ノ所在不分明ニシテ當期徴收難相成分	
	金貳圓		現在高	
	金壹圓		前記ノ事由ニヨリ當期徴收難相成分	
	金三圓		前記ノ事由ニ因ル	
	金三圓		現在高	
	金三圓		何年何月何日納稅者歸籍セシニ因リ追徴(何年何月何日何郡區何町村へ移轉送籍) (歸籍處分ノ處公賣代價不相當ニテ官沒相成リシニ因リ官損ノ義何月何日郡區役所ヨリ通報又ハ滿三ヶ年經過スルモ歸籍セサルニ付云々ノ義何月何日郡區役所ヨリ通知)	

訓令

七十四



人力車稅合計

年月日	區分		未納金額	事由
	十八年度	十九年度		
	後半年度	前半年度	金五圓	現在高
	金八圓	金七圓	金拾貳圓	
	金貳拾圓	金三圓	金三圓	
	金貳拾圓	金三圓	金三圓	
	金貳拾圓	金三圓	金三圓	
	十八年度前半年度	十九年度前半年度	金三圓	何某及何某籍籍セシニ因リ追徴

金壹圓	十九年度前半年度五拾錢	何某何郡區何町村へ移轉送籍ノ分
金五拾錢	何某籍籍處分ノ處公賣代價不相當ニテ官沒相成リシニ由リ官損ノ義何月何日郡區役所ヨリ通報	
金三圓	何某分滿三ヶ年經過スルモ籍籍セサルニ付云々ノ義何月何日郡區役所ヨリ通知	
金拾貳圓五拾錢	現在高	

訓令甲第六號

明治十九年九月三日

郡區役所  
戸長役場

赤貧患者ノ病毒汚染シタル物品官吏ノ指揮ニ據リ燒却シタルキハ代  
リ品給與スヘキ筈ニ候得共燒却品等ハ必ス原數ノ如ク給與スルノ主  
意ニ無之候令ハ三衣ヲ燒却スルモ一衣ヲ以テ事足ルトキハ即チ一衣



若シクハ現品代價ヲ給スヘク又些細ノ物品ハ素ヨリ本人ノ損失ニ歸  
セシメサルヲ得ス其一町村ノ協議ヲ以テ救助スルモ妄ニ地方税ノ支  
出ヲ望マサル様精々費用節減ニ注意シ費用ノ報告ハ所轄檢疫支部又  
ハ警察署ニ送付スヘシ

訓令甲第七號

明治十九年九月四日

郡區役所  
戸長役場

租税検査員携帯印章改正候ニ付照合印鑑相渡候條従前ノ照合印鑑ハ  
來ル三十日限還納スヘシ

訓令甲第八號

明治十九年九月十七日

郡區役所  
戸長役場

虎列刺病流行地ヨリ來ル船舶並旅人検査ノ義ハ其都度相達候處流行  
地解除ノ告示ヲ爲シタル上ハ該地方ヨリ來ル船舶若シクハ旅人ノ檢  
疫ヲ行フニ及ハズ

訓令甲第九號

明治十九年九月廿日

郡區役所  
戸長役場

國民兵異動届遷延ニ係ル者自今異動届書ニ遷延之事由ヲ詳記シタル  
手續書ヲ徴シ副申差出スヘシ



訓令甲第十號

明治十九年九月二十日

郡區役所  
戸長役場

額田幡豆碧海三郡内ニ於テ近來馬病流行シ斃馬陸續有之右病症ハ取調中ニテ未タ確定シ難シト雖モ其景況傳染質ノ獸病ト考ラレ候條此際獸類畜養者ニ於テ充分豫防ニ注意スヘキハ勿論ニ有之就テハ官報九百六拾四號ニ掲載セル本年農商務省告示第十八號獸類傳染病豫防心得ヲ熟閱シ充分手當候様精々注意致スヘシ

訓令甲第拾一號

明治十九年九月廿七日

郡區役所

戸長役場

本縣布令配付部數左之通相定ム

但本年<sup>六</sup>當縣乙第四十一號達ハ廢止ス

縣令並告示

郡區役所へ二部ツ、  
戸長役場へ二部ツ、

訓令甲號

郡區役所へ二部ツ、  
戸長役場へ一部ツ、

訓令乙號

郡區役所へ二部ツ、

右之外勅令閣令省令及告示ノ中一般ニ關スルモノハ便宜揭示用ノ爲メ特ニ郡區役所戸長役場へ各一部ツ、配付ス

訓令甲第十二號

明治十九年十月四日

郡區役所